

# 優しさを伝える技術

—フランス発のケア技法『ユマニチュード<sup>®</sup>』に学ぶ—



京都大学こころの未来研究センター特任教授  
講師：イヴ・ジネスト氏

平成31年3月24日(日)

13:30 ~ 15:30(受付13:00 ~)

滋賀県立大学 共通講義棟A4-205教室



国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長  
ジネスト・マレスコッティ研究所 日本支部 代表  
講師：本田 美和子氏

高齢社会を迎え、医療や介護の現場で実際にケアに携わっておられる方々だけでなく、誰にとっても、コミュニケーションやケアの技術は身近な課題になっています。

今回の公開講演では、フランスで考案・実践され、世界各国で導入が進んでいる「ユマニチュード<sup>\*</sup>」というケア技法について、考案者のイヴ・ジネスト氏と、日本での普及活動に取り組んでいる本田美和子氏をお招きし、このケア技法を実例の映像を交えつつお話しいたします。

「暴力的だった患者が素直になった」「寝たきりの人が自ら歩き始めた」といった変化が報告され、日本でも医療や介護現場で導入が進むとともに、自治体や地域社会、家庭、学校などでも幅広く利用され始めています。

「ユマニチュード」を考案、実践・普及されているお二人から直接、お話が聞けるまたとない機会ですので、奮ってご参加下さい。

<sup>\*</sup>「ユマニチュード (humanitude)」は、人間らしさを取り戻すことを意味するフランス語の造語で、体育学を専攻するイヴ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏によって作り上げられた、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法です。

※HUMANITUDEおよびユマニチュードの名称およびそのロゴは、日本およびその他の国における仏国SAS Humanitude社の商標または登録商標です。

定員

一般対象200名(申込先着順) ※要事前申込 申込期限 3月14日(木)

参加費

無料

申込方法等

裏面の申込書をご利用いただき、FAX、郵送、ハガキ、メールでお申し込み下さい。  
事務局より受付完了の旨連絡します。

申込・  
問い合わせ先

滋賀県立大学地域連携・研究支援課

TEL 0749-28-8616 FAX 0749-28-8473 E-mail chiiki\_grp@office.usp.ac.jp

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

主催

滋賀県立大学

FAX : 0749-28-8473

## 滋賀県立大学公開講演 (3/24) 申込

氏名	ふりがな	
年齢・性別	年齢 ( )	性別 ( )
住所	(〒 )	
電話番号	(自宅)	(携帯)
E-Mail		

申込・  
問い合わせ先

公立大学法人滋賀県立大学 地域連携・研究支援課 公開講演担当

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

E-mail [chiiki\\_grp@office.usp.ac.jp](mailto:chiiki_grp@office.usp.ac.jp) TEL:0749-28-8616 FAX:0749-28-8473

※申込後、事務局より受付完了の旨連絡します。

申込の際にお伺いした個人情報については、当課の事業案内以外の目的で使用することはありません。

### 講師プロフィール (敬称略)



イヴ・ジネスト  
Yves Gineste

1976年 仏・Toulouse大学卒業 (科学学部体育教育学専攻)、フランス文部省・病院職員教育担当教員を経て、2000年～ジネスト・マレスコッティ研究所代表。「人 (human) とは何か」という哲学と、知覚・感情・言語に基づく包括的コミュニケーションを軸としたケア技術「ユマニチュード」を考案、確立させる。2011年～ポルトガル・Coimbra大学看護学部客員教員、2014年～ジネスト・マレスコッティ研究所日本支部設立、静岡大学客員教授、2017年7月～京都大学こころの未来研究センター特任教授。主な著作 (日本語) : 『ユマニチュード入門』(医学書院 / 2016年)、『「ユマニチュード」という革命 : なぜ、このケアで認知症高齢者と心が通うのか』(誠堂新光社 / 2016年)、『Humanitude (ユマニチュード)「老いと介護の画期的な書」』(トライアリスト東京 / 2014年)。



本田 美和子  
Honda Miwako

1993年筑波大学医学専門学群卒業後、国立東京第二病院 (現・国立病院機構東京医療センター)、亀田総合病院、国立国際医療センターに勤務。1998年より米国フィラデルフィア市のトマス・ジェファソン大学にて内科レジデント、ニューヨーク市のコーネル大学病院老年医学科フェローを経て、2002年帰国。国立国際医療センター エイズ治療・研究センターを経て、2011年より現職。2014年 同 政策医療企画研究部・医療経営情報・高齢者ケア研究室 室長兼任。2011年10月、フランスのジネスト・マレスコッティ研究所を訪問したことがきっかけで、ユマニチュードの日本への導入を始める。2014年、日本でのケア研修および研究拠点として、ケアの実践者や研究者等とジネスト・マレスコッティ研究所 日本支部を創設。主な著書 : 『エイズ感染爆発とSAFE SEXについて話します』(朝日出版社 / 2006年) や『ユマニチュード入門』(医学書院 / 2016年) など。



# 滋賀県立大学

The University of Shiga Prefecture

【会場】 滋賀県立大学A4-205教室  
彦根市八坂町2500

